

団体名	ヤマガタ防災・減災 Action !		
事業名	コミュニティ・スクールで作り出す切れ目ない防災教育		
助成事業区分	協働助成事業(テーマ希望型) 【ヤマコン 防災・減災に取り組み、安心して暮らせる社会づくり支援事業】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	450,551 円
		うち助成金額	450,000 円

事業目的

「切れ目ない防災教育」として幼保・小・中学校教育を繋ぐ、発達段階にあわせた防災教育を実施し、町の交流人口となる民間団体の先進的な防災教育やキーパーソンを招致、防災教育を通し、未来のまちで活躍する人を育み、いのちを守り、未来、笑顔溢れる町を目指し、こころの防災教育を一層推進していく。またこの取り組みを周知することで、教育の中に取り入れやすい、新しい防災教育のモデルを広く周知・提案する。

実施内容

①中山町の防災教育

実施においては、中山町・中山町教育委員会、校長会、幼保園長・防災教育コーディネーター(民間)が協働で防災教育連絡調整会議を設け、町内全校でこの事業実施する環境づくりを行っている。全国的にも珍しい防災教育を助言・実施する官民連携の枠組みとなっている。

②小学校での授業内容

【1年生】

幼保での防災教育や学校の安全教育(学校探検や避難訓練等)を振り返り、自分

が多くの時間を過ごす教室の安全と、危険な場所を見つけ、それぞれの理由を考える。災害を想像し、自分事として防災行動を捉え、自らが主体者となれるよう、2年生に向けての進級意識に合わせて、自分で考えること、自ら行動していくことへの自信を育む。



【5年生】

第1回目:河川モデルを利用し、理科の川のはたらきを復習し、洪水の仕組みを知り、町を守る事を考える。



第2回目:my 減災マップを作成し、ハザードマップへの理解を深め、過去の災害から避難行動についての気づきを得る。

第3回目:町を広域で捉え、避難行動の多様性を知り、自分の考えを表現する。

第4回目:今、自分たちが考えていることを誰に、何のために伝えたいのか、防災啓発ポスターを作成。

【6年生】

県内初実施となる「風水害24」を通じ、これまでの防災教育の学びをこれから社会へ関わっていく視点に繋いでいく。町で暮らす人々の社会的役割を知り、自分自身に足りない力に気づく。SDGsの視点で積み上げる些細な日常も防災活動となり、災害を減らすことに結びつくことを知る。



事業の成果及び今後の展望

現在、総合学習として実施している防災教育ですが、どの学校でも取り入れやすいように、学習指導案を作成し、防災啓発として活動の展示を行いこの活動を公益の財産としていきたい。

事業実施や事業協力のお問い合わせは
yamagatagensaifes
@gmail.com